

＊『9年間の学び』重点カリキュラム
＊「主体的・対話的で深い学び」の実現

みんなが安心 みんなで創る あなたが輝く学校

＊生徒エージェンシーを育む
「共創」カリキュラム

「学校のコンパス」小津中生が卒業時にめざしたい姿

生徒が“創る”授業

OPBL型授業（問題解決型学習）
○EdTechを活用した学び
○自立的学習 学び場・学び方

◇ 自芯をもつ 「踏み出す」をくりかえして身につけた自信と自分の芯
◇ 認め合う 周りを見て考え、人のために行動できる
◇ 「やわらかさ」で0から1を創る 遊びを学びに・学びを遊びに
※教師は「先生のコンパス」をもとに生徒との信頼を築きます

生徒が“創る”学校生活

○共創プロジェクト
○学校のコンパス
○ルールメイキング

令和7年度 取り組みの重点

確かな学力の育成 / 支援教育の充実 / 豊かな心の育成 / 健やかな身体の育成 / 小中一貫教育の推進 / 多様な主体との協働
/ 学校経営力の向上 / 教職員の資質・能力の向上 / 安全安心な学びの充実 / 地域の豊かな学びの育成

令和7年度 重点・具体的な取組・数値目標

自芯をもつ

認め合う

「やわらかさ」で0から1を創る

重点	○支援教育の充実 ○いじめ・不登校・子ども理解への取り組みの推進 ○人権教育の推進 ○道徳教育の充実 ○食に関わる取り組みの充実	○生徒主体の授業・行事の推進 ○小中一貫教育の推進 ○地域とともにある学校づくり(コミュニティ・スクール) ○地域人材・企業・団体の活用 ○海外学校・機関と連携した活動の推進	○自己有用感・自己肯定感の向上 ○生徒が主体的に“創る”学校生活 ○自己調整能力・困難を“突破”する力の育成 ○ICT機器を効果的に活用した「0から1」を創る学びの推進 ○個々の生徒の自立的学習の定着(学び場・学び方)
具体的な取組	○特別支援コーディネーター:支援教育・通級指導の推進 ○生徒支援コーディネーター:安心できる居場所の確保(02Uベース・校内教育支援ルーム) ○多様性を意識した人権学習の実施(子どもの権利) ○実践的な活動を中心とした道徳心の涵養(共創の時間) ○学校給食を通じた食育指導の推進(指導栄養教諭)	○生徒主体の授業の実現(PBL型授業・自由進度学習) ○生徒会・プロジェクトによる行事企画・運営(学校のコンパス) ○おづみん会議・おづこれ会議の充実(小中一貫教育) ○コミュニティ・スクールの活動推進(CS・地域学校協働) ○共創の時間の充実(研究開発学校・企業・機関・OECD連携)	○学校のコンパス・ルールメイキングプロジェクトの推進(OECD・カタリバ連携) ○協働・創造のためのEdTechの活用(EdTech) ○個別最適化した学習への取組み(学び場・学び方) ○読書活動・図書館活用学習の推進(メディアセンター) ○家庭学習の時間確保と充実(eライブラリ)
数値目標	▶先生は生徒を、サポートしてくれる 学校教育自己診断の生徒回答における 肯定的回答 95% ▶授業や行事などで、色々なことにチャレンジできた 肯定的回答 95% ▶学校の活動により、自信をもつことができるようになっている 肯定的回答 95% ▶先生は自分が努力したことを認めてくれる 肯定的回答 95% ▶学校では将来の進路や生き方について考える機会がある 肯定的回答 95%	▶いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う 学校教育自己診断の生徒回答における 肯定的回答 100% ▶友達には自分の意見を尊重してくれる 肯定的回答 95% ▶人の気持ちが分かる人間になりたいと思う 肯定的回答 95% ▶友達と協力することは楽しい 肯定的回答 95% ▶周りの人が困っていたら、力を貸してあげている 肯定的回答 95%	▶授業では自分の意見を発表する機会や話し合う活動の時間が確保されている 学校教育自己診断の生徒回答における 肯定的回答 95% ▶小津中学校は、生徒が自分たちで行事や学校生活のことを決めることができる 肯定的回答 95% ▶自分は責任ある学校や社会の一員だと思う 肯定的回答 95% ▶アイデアを出し合ったりまとめるなど、なにか新しい物事や考えを生み出すためにICT機器を使っている 肯定的回答 100% ▶自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている 肯定的回答 95%